

ごみ処理の有料化に関する説明会

1 日 時：令和3年8月3日(火) 午後7時～8時40分

2 場 所：袋井南コミュニティーセンター

3 出席者：41人

4 次 第

(1) あいさつ

(2) ごみ減量啓発動画の視聴

(3) ごみの有料化(案)の説明

(4) 質疑応答

Q：野焼きが増えるのではないか？

A：野焼きについて、苦情をいただいた場合は、現場に出向いて、指導させていただいています。ただし、農家の方が行う野焼きについては、農業を営む上でやむを得ない場合は、法律で例外規定とされており、消防署へ事前に届け出てもらえばできるとされていますので、ご理解をお願いします。

Q：茶葉を庭に捨てるだけでも、ごみ減量になるのではないか？ぜひ広報をお願いしたい。

A：生ごみの水切りに関しては、平成29、30年に、「水切り大作戦」と題し、力を入れ取り組ませていただきました。ごみ減量に対し、効果的と考えますので、引き続きPRをさせていただきます。

Q：記名式とする考えはないか？

A：記名式については、検討をしましたが、今回は見送りとの結論となっています。

Q：猶予期間が過ぎても、古い袋で出された場合の対応は？

A：その場合は、回収されないこととなります。ただし、その処理を自治会の役員で行わなければならない場合は、ご連絡いただければ、市で対応させていただきます。

Q：近隣市の状況は？近隣市と調整はしているのか？

A：もし手数料30円を上乗せし、1袋39円となった場合、県内では一番高いこととなります。掛川市は22円。森町は18円。磐田市、浜松市は有料化をしておらず、現在の袋井市と同じ9円くらいです。ただし、浜松市は現在、有料化を進めております。有料化については、それぞれの市町の考えですので、近隣市との調整は、特には行っておりません。

Q：不法投棄といったデメリットには、どのような対応をするのか？

A：現在は、2人1班体制で、不法投棄などの対応をしております。有料化により増えるという懸念もありますので、例えば、もう1班増やすなど、有料化の収入を使い、体制の強化に努めていきます。

Q：中遠クリーンセンターのごみ処理手数料は変わらないのか？

A：中遠クリーンセンターのごみ処理手数料については、平成20年の施設稼働から1度も見直していないことから、できれば令和4年4月に、ごみ処理の有料化と合わせ、見直しをしたいと考えています。ただし、中遠クリーンセンターについては、「袋井市森町広域行政組合」という別の組織で行っているものですので、今回の市の説明会では説明しておりません。

Q：森町も袋の値段を見直すのか？

A：森町は、平成19年から既に有料化を行い、現在の袋の値段が1枚18円と、袋井市よりは高くなっています。また、袋井市に合わせ、今回値段を見直すということはありません。

Q：雑紙の回収を行うと言ったが、いつからか？

A：有料化と時期を合わせ、令和4年の4月から始めていく考えです。

Q：袋の大きさ毎の値段は？

A：101円の手数を上乗せしたいと考えていますので、100なら10円、200なら20円、300なら30円、450なら45円の上乗せとなります。

Q：他の会場の質問や回答は？

A：多くいただいているのは、次の質問で、それに対し次のような回答をさせていただきます。

①Q：30円は高過ぎる。

A：1番効果が高いとされているため、30円の案をお示ししています。決定ではなく、今回の一連の説明会でいただいた意見をもとに、金額を決めていきます。

②Q：有料化をする前に、分別を徹底するのが先ではないか？

A：皆さんには不十分だと言われますけど、市も説明会や広報、ホームページなどで啓発を行ってきました。しかし、皆さんにお願いするだけで、費用を掛けるわけではないので、あまり効果が出ていないのが現状です。今回は、お願いだけでなく、市も有料化で得られた収入を原資として、お金を掛け減量化策に取り組んでいきますので、ご理解をお願いします。

③Q：生ごみ処理機は臭いがするのではないか？

A：生ごみ処理機には、3タイプがあります。「肥料化式」と「乾燥式」と「分解式」です。今検討しているのは、「分解式」です。「分解式」は、最終的に処理され残ったものを、水で流し、浄化槽などで処理するものです。先日も、実際に使用されているものを見に行きましたけど、蓋を開け、頭を突っ込めば、酸っぱい発酵臭はしますが、臭くて困るといったものではありません。こちらについては、近々、市内で試験導入を計画していますので、皆さんにもまたお知らせさせていただきます。

④Q：平成28年に容器包装プラスチックの分別を見直したのが良くなかったのではないか？

A：月2回収集していました容器包装プラスチック以外のプラスチックや、容器包装プラスチックでも汚れているものは、焼却処理をしていました。そのため、皆さんの利便性を図るため、「可燃ごみとして、緑の袋に入れても良い」としたところ、「プラスチックは何でも燃やしていい」という解釈が広まってしまいました。あわてて広報等させていただきましたけど、払拭するまでには至っていない状況

です。そのため、今回も動画等で、そのような説明をさせていただいているところですし、今後も啓発を行っていきます。

Q：草木の回収コンテナの設置は、いつから行うのか？

A：有料化に合わせ、令和4年4月から、ご希望により設置することを考えています。

Q：1袋30円の根拠が、2000年からの全国的な調査の結果、効果が高いと言っていたが、2000年からでなく境界条件を変えれば、違う結果が出るので、根拠とはならないと考えるがどうか？

A：「有料化の金額は決めていません」、「金額の根拠はありません」では、皆さんにお示しすることもできませんので、1袋30円、根拠は2000年からの全国的な調査の結果とさせていただいています。

Q：事業者は利益をあげているのだから、一般家庭より負担を増やせばどうか？

A：今回皆さんには、ごみ袋を1袋燃やすのに必要な経費約60円の半分、30円の負担をお願いしています。中遠クリーンセンターのごみ処理費は、1トン当たり20,000円掛かっておりますので、事業者には、中遠クリーンセンターのごみ処理手数料と袋の有料化分を合わせ、実費をいただくことを考えています。

Q：人口が1%増えたのに対し、ごみは18%、5,000t増えたとのことだが、ごみには森町のごみも、事業所のごみも含まれているので、おかしいのではないか？

A：誤解を招く表現で申し訳ありません。袋井市の家庭系だけの場合、6%の増加です。

Q：世帯当たりでは、10年前からごみが減っているがどうか？

A：核家族化が進み、1世帯当たりの人数が減り、世帯当たりのごみも減っているのだと考えます。

Q：下水汚泥とし尿汚泥が増えているのではないか？

A：下水汚泥については、当初から中遠クリーンセンターで処理する計画であり、その分、国からの補助ももらい、施設の建設を行っています。下水汚泥については、下水道区域が広がっていけば、増えることとなります。ただし現在、下水道については、計画より進捗が遅く、下水汚泥も計画よりは少ない状況です。

し尿汚泥につきましては、衛生センターの肥料化設備が故障してしまい、何億円も掛け更新するよりは、中遠クリーンセンターで燃やしましょうということになりました。市民の皆さんの負担は、設備を更新するよりは、少なく済んでいます。

Q：袋井北地区では、多くの反対意見が出ていた。先ほど、他地区の状況を説明する際に、なぜそのことを言わなかったのか？

A：確かに、袋井北地区の説明会では、多くの反対意見が出ました。アンケートの結果も、そのほかの地区では、30円でも仕方ない賛成が約35%なのに対し、袋井北地区は5%、値上げに反対が他地区で約10%に対し33%と大きく違いますが、有料化自体はやむを得ないとされた人が、過半数でした。説明会の場では、反対される方の声の方が大きく、皆さんが反対されているように感じられたかも知れませんが、明確に反対という人は、全体の3分の1という結果でした。

Q：市民1人当たり14,000円と言っているが、事業系のごみを除けば11,000円程度である。

A：その事業所では、主に市民が働いていて、その市民がごみを出しています。そのため、ごみ処理費用を計算する場合、一般的には事業系のごみも含めて計算します。市外から通勤してくる人もいると言われるかも知れませんが、市外に通勤されている人もおり、一般的には相殺して考えます。

Q：森町議員は、中遠クリーンセンターの処理量が限界近くなっていることを知らなかった？おかしいのではないか？

A：森町に知らせていただくよう、お願いしていきます。

【説明会後に要望をいただきました】

Q：ごみ出しガイドブックに、種類ごとのリサイクルマークなどを載せて、分別を分かりやすく案内してほしい。

A：対応させていただきます。